

再発防止対策のアクションプラン(全社)

別添2

項目	対策	対策の概要	対策分類			スケジュール	
			新規	内容充実	継続	H19上期	H19下期
I 第一線職場への支援策の充実	◆ 業務に必要な法令手続の確実な把握	◎ 法令手続チェックリスト等を用いて業務に必要な法令手続を把握する			○	法令手続の把握	
	◆ 最新法令情報の提供	◎ 法改正管理システムの導入			○	H19.1 システム(法令FOCUS)導入済	
II CSRの更なる推進	◆ 社長、役員層からのメッセージの継続的発信	◎ 定例幹部会議および役員キャラバン等の機会をとらまえて、社長・役員層からCSR・コンプライアンス意識の徹底を図るため、より強いメッセージを発信する ◎ 社長が第一線職場を訪問し、メッセージを直接伝えるとともに、対話活動を展開する			○	定例幹部会議で訓示 ▽ 役員キャラバンで訓示	定例幹部会議で訓示 ▽ 役員キャラバンで訓示
	◆ CSRキーパーソン研修等に基づく啓発研修の展開	◎ CSRキーパーソン研修において、より重要な課題としてコンプライアンスの徹底をかかげ、CSRキーパーソンが各職場でディスカッションを中心とした啓発研修を展開する			○	▽ キーパーソン研修	▽ キーパーソン研修
	◆ コンプライアンスリスクに関するディスカッション	◎ 各職場の懇談会のテーマとして、実業務に潜むコンプライアンスリスクを取り上げ、コンプライアンスリスクに関する職場の認識を共有化するとともに、コンプライアンス意識を高める			○	コンプライアンスリスクに関するディスカッションの実施	
	◆ 各職場への巡回研修、階層別研修の充実	◎ CSR・コンプライアンスの専門部署が各職場を巡回し、担当者まで対象者を拡大して直接研修を実施する ◎ 従業員の階層に応じたCSR・コンプライアンス意識を高める研修を実施する			○	▽ 新入社員研修	▽ 第一線職場課長研修
	◆ 研修ツールの作成・整備	◎ より実業務に即したCSR・コンプライアンスに係わる事例を全社から収集し、解説も作成の上、新たに事例研修のツールとして活用する ◎ 当社や他企業で起きたコンプライアンスに係わる事例を、自らの問題として身近に感じられるように、背景や問題点とその解説を、コンプライアンス時事コラムとして周知する			○	▽ CSRケースメソッド事例 ▽ 新コンプライアンス事例集	▽ CSRケースメソッド事例 ▽ CSRケースメソッド事例
	◆ 各職場の実態に応じた身近な取組みの実施	◎ これまでの各職場の取組みを踏まえ、CSR意識浸透、職場風土改善に向けた身近な取組みの内容を充実させる (例)・一人ひとりの業務をCSR・コンプライアンスの視点でチェック ・CS(お客さま満足向上)運動 ・6S(整理、整頓、清掃、清潔、躰、作法)運動			○	各職場ごと身近な取組みの実施	
	◆ CSRの取組み内容の共有	◎ これまでの各職場のCSRにかかるの取組み等を踏まえ、CSRキーパーソン同士の意見交換会の内容を充実させる ◎ 社内サイト、社内新聞を活用して、従業員がより身近に感じやすいCSRの取組みの具体例を紹介し、情報共有することで、取組み改善の意識付けを行う			○	▽ 意見交換会	▽ 意見交換会 ▽ 活動報告とりまとめ
III モニタリングの強化	◆ 再発防止対策の実施状況の監査	◎ 全部門・関係会社における監査の範囲・対象を拡大する			○	監査の実施	
	◆ 「設備関係相談窓口」(仮称)の設置	◎ 点検時に設置した聴き取り調査の窓口を経営監査室に継続設置し、技術的事項全般に関する相談を直接受け付ける			○	▽ 設置	
	◆ コンプライアンス相談窓口の再周知	◎ コンプライアンス相談制度の仕組み(相談者への不利益排除など)を、全社に再周知し、相談しやすい環境を整える			○	▽ 再周知	